

感染症情報 4月21日～27日

府下小児科187医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1,764例(堺市	80例)
②溶連菌感染症	270例(堺市	32例)
③RSウイルス感染症	169例(堺市	10例)
④伝染性紅斑	133例(堺市	7例)
⑤咽頭結膜熱	85例(堺市	19例)

府下293医療機関(堺市25)から

インフルエンザ	268例(堺市	3例)
---------	---------	-----

報告数による順位。前週比3.3%増の2,573件。感染性胃腸炎が府下で前週から3%増、堺市で前週112例→今回80例。溶連菌感染症が府下で3%減、堺市で前週35例→今回32例。RSウイルス感染症が府下で12%減、堺市で前週11例→今回10例。伝染性紅斑が府下で12%増、堺市で前週・今回とも7例。咽頭結膜熱が府下で47%増、堺市で前週9例→19例であった。定点当たり大阪府は0.45、堺市の1.12はブロック別のワースト。

インフルエンザが府下で前週285例→今回268例は6%減。堺市は前週9例→今回3例。

全数把握疾患である百日咳の報告が大阪府で前週110例→今回105例は5%減であった。堺市は0例であった。

府下293医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症	300例(堺市	25例)	
大阪府定点	1.02	堺市定点	1.00

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、府下で8%減、定点当たり1.11→1.02。堺市で同数、定点当たり1.00→1.00。

府下293医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症	12,495例(堺市	1,212例)	
大阪府定点	42.65	堺市定点	48.48

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より8%増、定点当たり39.49→42.65、堺市で前回より7%増、定点当たり45.16→48.48であった。

麻疹の報告が大阪府ブロックで1件あった。風疹はなかった。